

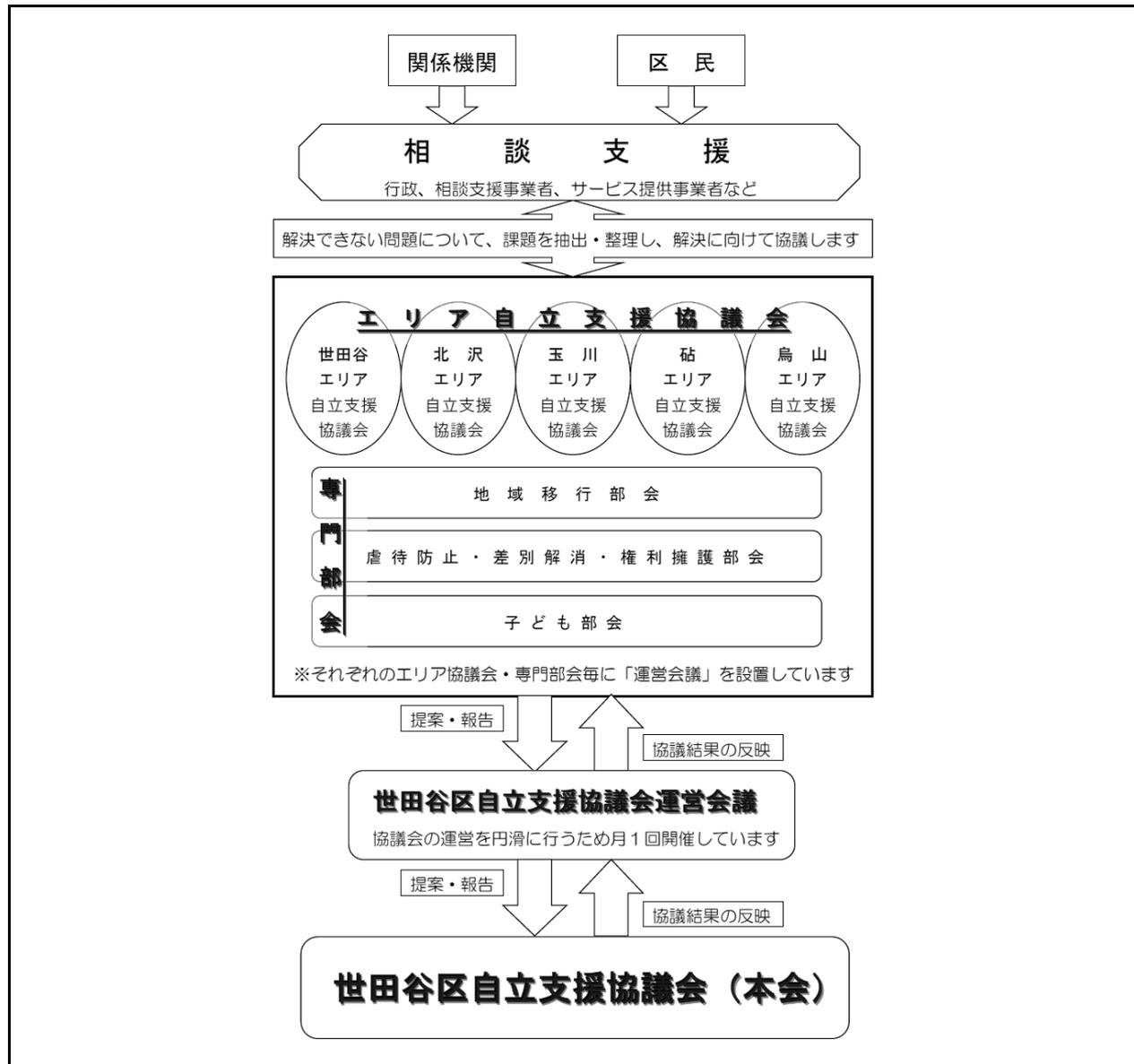
世田谷区

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 世田谷区自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.setagaya.lg.jp/mokuji/fukushi/005/002/001/d00033843.html>

(3) 組織図



(4) 会議実施方法等

ア 開催方法

全体会	ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）	専門部会等	集合形式
-----	-----------------------------	-------	------

イ 開催時間

全体会	平日夜間（業務時間外に係る時間帯）	専門部会等	その都度異なる
-----	-------------------	-------	---------

具体的な内容

出席率を高めるため、委員の参加しやすい時間で調整している。

2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経験年数
1	会長	鈴木 敏彦	淑徳大学 副学長	学識経験者		長期
2		丸山 晃	立教大学コミュニティ福祉研究所 研究員	学識経験者		長期
3		山梨 武夫	地域生活支援センターMOTA	障害当事者（ピアサポーター含む）		3年
4		鈴木 範夫	自立生活センターHANDS世田谷 事務局長	障害当事者（ピアサポーター含む）		3年
5		中川 邦仁丈	相談支援センターあい 管理者	相談支援事業者		長期
6		等々力 寿純	重症心身障害児療育相談センター	相談支援事業者		3年
7		杉山 真生子	地域生活支援センターMOTA	相談支援事業者		長期
8		月永 清美	すまいる梅丘 施設長	障害福祉サービス等事業者		2年
9		西村 周治	障害者就労支援センターすきっぷ 施設長	障害福祉サービス等事業者		長期
10		土屋 仁	(特非)にじのこ 理事長	障害福祉サービス等事業者		長期
11		川邊 循	ケアセンターふらっと	障害福祉サービス等事業者		長期
12		天野 実千代	グループホームおはなの家 サービス管理責任者	障害福祉サービス等事業者		長期
13		永嶋 千秋	世田谷ホームヘルプサービス 所長	障害福祉サービス等事業者		2年
14		野村 武夫	世田谷さくら会	家族・関係団体		長期
15	副会長	荻野 陽一	世田谷ミニキャブ区民の会	障害当事者（ピアサポーター含む）		長期
16		阪田 純	世田谷区手をつなぐ親の会 副会長	家族・関係団体		長期
17		霜崎 敏一	東京商工会議所 事務局長	雇用関係機関		長期
18		永田 弘行	ハローワーク渋谷 雇用開発部長	雇用関係機関		1年
19		竹花 潔	世田谷区立保健センター 専門相談課長	その他		3年
20		島添 聡	光明学園 校長	教育関係機関		1年
21		遠藤 知子	青鳥特別支援学校 PTA会長	教育関係機関		長期
22		齊藤 一郎	世田谷区医師会 小児学校保健部 担当理事	医療関係者		3年
23		坂本 剛	玉川医師会 理事	医療関係者		1年
24		桔梗 知明	世田谷区歯科医師会 理事	医療関係者		長期
25		米山 ゆき子	玉川歯科医師会 理事	医療関係者		長期
26		八木 亮	世田谷薬剤師会 副会長	医療関係者		長期
27		橋本 晶子	玉川砧薬剤師会 理事	医療関係者		長期
28		鈴木 さおり	訪問看護ステーションきたざわ苑 所長	医療関係者		1年
29		谷田部 成徳	都立松沢病院 患者・地域サポートセンター	医療関係者		1年
30		小暮 紀子	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	医療関係者		3年
31		松本 俊一	蒼樹法律事務所 弁護士	法曹関係者		長期
32		若林 一夫	世田谷区社会福祉協議会	社会福祉協議会		3年
33		小池 宗和	世田谷区民生委員児童委員協議会 副会長	民生委員・児童委員		2年
34	エリア協議会長	大野 圭介	(福)藍 理事長	障害福祉サービス等事業者		1年
35	エリア協議会長	笹森 紀代	東京総合福祉 管理者	相談支援事業者		3年
36	エリア協議会長	高橋 明良	さわやかはーとあーす世田谷 施設長	障害福祉サービス等事業者		2年
37	エリア協議会長	荒井 広祐	友愛デイサービスセンター サービス管理責任者	障害福祉サービス等事業者		1年
38	エリア協議会長	片岡 学	指定特定相談支援事業所マーベラス	相談支援事業者		3年
39	専門部会長	松浦 聖	(一社)team shien m.a 在宅支援事業部 相談支援事業部 部長	相談支援事業者		2年
40	専門部会長	松本 俊一	蒼樹法律事務所 弁護士	法曹関係者	再掲	長期
41	専門部会長	河合 高鋭	鶴見大学短期大学部 保育課 准教授	学識経験者		1年
42		安間 信雄	北沢総合支所保健福祉センター所長	行政職員(区市町村)		
43		須藤 剛志	障害福祉部長	行政職員(区市町村)		
44		向山 晴子	世田谷保健所長	保健所		

(2) 委員構成

種別	全体会・ 部会名	全体会	地域移行 部会	虐待防止・差 別解消・権利 擁護 部会	子ども部会
学識経験者		3	0	1	1
医療関係者		9	0	0	1
保健所		1	2	1	1
教育関係機関		2	0	0	1
雇用関係機関		2	0	0	0
企業		0	0	0	0
障害当事者（ピアサポーター含む）		3	0	1	0
家族・関係団体		2	0	1	1
身体・知的障害者相談員		0	0	0	0
相談支援事業者		6	4	1	3
障害福祉サービス等事業者		9	4	3	0
社会福祉協議会		1	0	1	0
法曹関係者		2	0	1	0
民生委員・児童委員		1	0	0	0
地域住民		0	0	0	0
行政職員（区市町村）		2	4	8	3
行政職員（都）		0	1	0	0
その他		1	2	8	1
計		44	17	26	12

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

区内相談支援事業者にアンケート調査を実施し、事業者支援や質の向上の側面から課題共有を行った。

③ 地域移行・地域定着支援に関すること。

地域包括支援センターの実施する会議に参加し、精神科病院からの地域移行について意見交換を行った。

⑤ 医療と福祉の連携に関すること。

医師会や訪問看護ステーションの取り組みに関して、情報共有を行った。

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

人材不足をテーマに、地域の人材に詳しい区内関係機関との意見交換を行った。

⑧ 社会資源の開発及び改善に関すること。

- ・福祉事業所の空き時間を活用し、当事者や家族が無理なく立ち寄れるイベントを実施した。
- ・商店街のイベント等にスタッフとして参加し、地域と繋がる機会を設けた。
- ・地域で居場所となる飲食店等に協力を呼びかけ、地図アプリを活用した情報発信を行った。

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

- ・障害者差別に関する相談内容や対応事例を共有し、意見交換を行った。
- ・虐待事例検討を実施し、区職員向けの虐待対応研修に活用した。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

整備状況や緊急時の受け入れ対応状況等について共有を行った。

⑪ 障害福祉計画等に関すること。

次期の障害福祉計画策定に向けて、地域に必要な社会資源の開発・改善の情報共有を行った。

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること。

協議会のあり方や地域課題の抽出方法について、エリア協議会からの意見を中心に協議を行った。

⑬ その他（防災に関すること。）

- ・ 防災をテーマにシンポジウムを開催した。
- ・ 高齢者福祉関係者を交え、防災におけるネットワークの形成に向けて協議を行った。
- ・ 医療関係機関における防災の仕組みや取り組みについて情報共有を行った。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

エリア協議会や専門部会において、地域の声として吸い上げている。

② 情報共有・情報発信

エリア協議会や専門部会において吸い上げた情報を、共有・発信している。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

高齢福祉分野や医療機関、地域の商店街等と交流を深め、関係性を構築している。

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

各分野との交流や意見交換の結果を報告し、区内全域の情報として共有している。

⑤ 地域課題の整理

各専門部会で地域課題の抽出を行い、自立支援協議会で情報共有・課題整理を行った。

⑥ 課題解決に向けての検討

エリア協議会や専門部会にとどまらず、ワーキンググループを立ち上げる等して検討している。

⑦ 障害福祉計画等の進捗管理や調整

障害福祉計画等への意見提起を行っている。

⑩ 権利擁護・虐待防止

専門部会における事例検討やその活用方法について共有している。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 個別の困難事例の把握・検討（複数回答）

② 専門部会やその他の各種連絡会等から検討が必要なものを取り上げている。

エリア協議会や専門部会等における事例検討や地域課題を共有し、全体の議題として取り上げている。

④ アンケート・ヒアリング等で把握した案件から取り上げている

エリア協議会や専門部会等で実施したアンケート等をもとに議題として取り上げている。

イ 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

区内相談支援事業者にアンケート調査を実施し、事業者支援や質の向上の側面から課題共有を行った。

③ 権利擁護・虐待防止

- ・障害者差別に関する相談内容や対応事例を共有し、意見交換を行った。
- ・虐待事例検討を実施し、区職員向けの虐待対応研修に活用した。

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

人材不足をテーマに、地域の人材に詳しい区内関係機関との意見交換を行った。

⑥ 緊急・災害等対応

- ・防災をテーマにシンポジウムを開催した。
- ・高齢者福祉関係者を交え、防災におけるネットワークの形成に向けて協議を行った。
- ・医療関係機関における防災の仕組みや取り組みについて情報共有を行った。

⑦ 医療的ケア

医師会や訪問看護ステーションの取り組みに関して、情報共有を行った。

⑨ 教育支援

事例検討を実施し、福祉・教育・家庭の連携強化について検討を行った。

⑪ 地域移行・地域定着支援

地域包括支援センターの実施する会議に参加し、精神科病院からの地域移行について意見交換を行った。

ウ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

① 相談支援の質及び量

実施したアンケートにおいて、「サービス提供内容に対して報酬が見合わない」といった意見が散見された。国制度に基づく課題であるため、東京都全域での検討が必要である。

⑤ 福祉人材（マンパワー）の確保

東京都が実施する研修体系等も含め、各自治体における対応・好事例を共有する必要がある。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 地域自立支援協議会活動の評価

ア 全体会・専門部会等の評価

全体会	一概には言えない。	専門部会等	活性化した。
-----	-----------	-------	--------

具体的な内容

全体会では、報告や情報共有を行っているため、議論の場として十分な時間が確保できていない。

イ 活性化したと評価する理由

エリア協議会や専門部会における協議・検討は活発に行われており、各エリア協議会毎の得意分野や地域の特性を生かした取り組みが実施できている。

ウ 活性化するための今後の取組

エリア協議会や専門部会の活性化に対し、年に2回実施している全体会においては、活発な議論が行えているとは言い難い。今後は東京都や他自治体の動向を踏まえ、全体会のあり方や実施手法等を見直す場を設ける。

(2) ICTの活用

- ・ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）を基本として開催している。
- ・全体会の会議録は、音声認識による文字起こしツールを活用している。
- ・全体会の会議資料は、紙資源削減のため、事前にデータ配布するとともに、会場のモニターやスクリーン、Web会議での画面共有機能を活用している。